

【資料1】

**平成29年度
文化芸術関連事業報告書**

目次

- 1P 企画展／一日図書館員・子ども図書館員
- 2P レファレンスサービス／大人のためのおはなし会
- 3P 文化芸術交流事業／生涯学習笑顔のつどい
- 4P 公共施設美術品展示
- 5P 文化教養向上／小学校親子読書活動促進
- 6P 図書館まつり／読書活動促進
- 7P 学校図書館・公共図書館相互貸借／セカンドブック
- 8P 読み聞かせ促進
- 9～12P コスモス市民講座
- 13P 自然史・歴史講座
- 14P 芸術祭／文化祭
- 15P コンサート
- 16P 童謡まつり／こども美術展
- 17P 青少年活動支援事業(わくわくフェスタ)／古賀の魅力再発見コンテスト
- 18P 地域人権啓発
- 19P 読書ノート／中学生読書サポーター
- 20P アート・バス／読書推進
- 21P 青少年活動推進(アート教室)／青少年音楽活動支援
- 22P 生き生き音楽校／視聴覚資料利用促進
- 23P 地域文庫・読書ボランティア支援／視聴覚障害者読書支援
- 24P 青少年活動支援(コスモックスまつり)／乳幼児親子相談
- 25P 乳幼児絵本との出会い促進(ブックスタート)
- 26P 乳幼児親子居場所提供／地域介護予防推進
- 27P ねんりんスポーツ・文化祭／介護・生きがい活動支援センター(ゆい)管理運営
- 28P 高齢者生きがいづくり支援センター(えんがわくらぶ)運営
介護予防・生きがいづくり支援(しゃんしゃん)
- 29P 介護予防支援センター(りん)管理運営／外出促進
- 30P レットライ!プロジェクト／文化芸術振興計画管理
- 31P 絵画で古賀市を元気にするプロジェクト／文化芸術事業補助金

平成29年度文化芸術事業報告書(企画展)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝の再認識 — 行政がおこす — 短期		
目的	市民が歴史、民俗、博物、考古について学ぶ機会を提供する。		
日時	7月25日(火)～8月31日(木) ※歴史資料館の休館日を除く	会場	歴史資料館 ギャラリー
来場者	下記のとおり	参加者	下記のとおり
担当課	文化課	担当係	文化財係・文化振興係
内容	<p>【展示】『海からのメッセージ』 来館者 1,957人 ※平成28年5月にご逝去された石井忠元歴史資料館長の業績とライフワークであった漂着物の世界を中心に、古賀の海の歴史や環境について市民にもう一度見直す機会としてもらうことを目的に実施した。</p> <p>【関連イベント:制作】「海からの贈り物」～貝殻のフォトフレームとペン立てを作ろう～ 8月5日(土)・6日(日)14:00～16:00 参加者数62名 フォトフレームやペン立てに絵具で色付けした粘土を貼り、貝やシーグラスで飾った。両日とも大変楽しそうに親子で制作する姿が見られた。</p> <p>【関連イベント:講演】「太平洋戦争、忘れ去られた計画～玄海灘沿岸の戦争遺跡～」 講師 花田勝弘氏 (滋賀県野洲市教育委員会) 期日 平成29年8月11日(金) 13:30～15:00 参加者数:69名 企画展の「古賀の海の歴史」と併せて開催。講師の玄海灘沿岸の戦争遺跡の調査研究を踏まえて、終戦間際の古賀市海岸付近で、どのような作戦が立てられていたのかの講演を行った。</p>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> 資料館の展示パネルを、小・中学生にも読めるように図を用いて分かりやすく展示することで、幅広い年代の市民の関心を高めることができた。 石井氏の漂着物を借用してきたが、数が少なく、多くの漂着物があると思っ来館された人には質、量ともに物足りない内容であった。 		

平成29年度文化芸術事業報告書(一日図書館員・子ども図書館員事業)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再確認する — 行政がおこす — 短期		
目的	図書館の仕事を体験することで、図書館に対する理解、関心を高める。また、図書館が身近なものとなることで、読書の促進につなげる。		
日時	子ども図書館員:8月2日(水) 1,2年 10時30分～12時 3～6年 14時～15時30分 大人の図書館員:11月9日(水) 9時20分～15時	会場	図書館
来場者		参加者	大人:1人 子ども:6人
担当課	文化課	担当係	図書館係
内容	<p>【大人の図書館員】 図書館業務である、カウンター業務や書架整理、配架を体験していただいた。</p> <p>【子ども図書館員】 図書館についての説明後、館内見学、図書館業務体験を行った。 参加学年:1年生 2人、2年生 1人、3年生 1人、4年生 1人、5年生 1人</p>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> 大人の図書館員では、施設の見学、書架の整理などの業務体験をしてもらった。3人の応募者に対して、参加は1名のみであった。広報に努めると共に、実施回数についても検討が必要。参加者は、積極的に業務に関わっていただいた。 子ども図書館員の参加者は、少し緊張しながらも大変興味を持って積極的に体験に臨んでいた。最後に館長から終了証を渡し、「読書ノート」を渡した。今後の利用につながることを期待したい。 		

平成29年度文化芸術事業報告書(レファレンスサービス事業)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再確認する — 行政がおこす — 短期		
目的	情報を求めている市民・図書館利用者に対し、資料の調査をしたり、相談に応じることで情報の提供を図る。		
日時	随時	会場	図書館
来場者		参加者	情報を求める市民、図書館利用者
担当課	文化課	担当係	図書館係
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の多種多様なニーズに応じて、資料及び情報の提供を行った。 レファレンス件数:7,748件 口頭:4,231件 相互貸借:3,517件 ・過去の新聞記事を検索できるデータベースや事典・辞書等を備えたデータベースを備えた。(28年度から「食と農」をテーマにした内容で、農作物の病気、害虫や野菜づくり等を調べることができるデータベースを備えた。) 		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス対応の為に書誌等を揃えるなど、カウンターを整備し、利用者が求める時に、すぐ対応できるよう職員体制にも努めてきたが不十分な面があった。 ・今後は市民のニーズや地域の課題に応じたレファレンスに対応できるように、職員の日頃の自己研鑽や体制づくりが必要である。 		

平成29年度文化芸術事業報告書(大人のためのおはなし会事業)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再確認する — 行政がおこす — 短期		
目的	大人に昔話を語ることによって、語りのよさを味わってもらい、読書の幅を広げる。		
日時	平成29年7月2日(日) 14時～15時	会場	リーパスプラザ こが 歴史資料館 中会議室
来場者		参加者	19人
担当課	文化課	担当係	図書館係
内容	<p>大人を対象に、昔話や民話などを大人対象に語っていただいた。</p> <p>【講師】 古賀子どもの本の交流会(代表 草野 三保子さん)</p>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・参加人数は、当初予定していた人数よりも少なくなったが、初めて語りを体験される人も数名参加いただき、語りの良さを感じていただくことができた。実施後のアンケートも概ね好評であった。 ・日本の伝統的なわらべうたや、手遊びも交え、生の声で語られる昔話の魅力に、心があたたまるひとときを過ごすことができた。 		

平成29年度文化芸術事業報告書(文化芸術交流事務)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町村との交流を図り、情報収集や意見交流を行い、新たな文化芸術の視点を取り入れる。 ・近隣市町村と共同で行うことで広域的なネットワークづくりを行う。 ・古賀市の誇れる文化芸術資源を市内外に積極的に発信する。 		
日時	下記のとおり	会場	下記のとおり
来場者		参加者	
担当課	文化課	担当係	文化振興係
内容	<p>【粕屋地区美術展】 日時 平成29年11月8日(水)～11月14日(火) 会場 篠栗町合併50周年記念体育館 内容 糟屋郡の1市7町と福津市、宗像市の持ち回りで、毎年開催されている芸術部門の展示会。平成29年度で45回目をむかえた。毎年古賀市から30点～40点の出品をしており、作品は広報を通して市民から公募している。 出展 出展数34点(うち無鑑査4点) 入賞者7人 ・糟屋地区文化協会連合会賞(1人) ・糟屋地区議会協議会賞(2人) ・福岡県美術協会賞(1人) ・奨励賞(3人) 受賞</p> <p>【福岡 I ブロック芸文のつどい】 日時 平成29年11月19日(日) 会場 リーパスプラザこが 中央公民館大ホール 内容 糟屋郡の1市7町、福津市、宗像市の持ち回りで、毎年開催されている芸能部門の発表会。平成29年度で25回目をむかえた。毎年古賀市からは3団体(10人～20人)程度が出演するが、今回は開催市であることから、複数団体がコラボレーションして、舞台へ登壇した。 出演 古賀市からは35団体出席</p>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・開催市ということで各団体が協力して、古賀市の文化的な魅力を市内外にPRできた。 ・出品者の高齢化が進んでいる。 ・出品者が減少傾向にある。 ・若い出品者の開拓が必要である。 		

平成29年度文化芸術事業報告書(第4回生涯学習笑顔のつどい)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再確認する — 行政が起こす — 短期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期		
目的	<p>第2次古賀市生涯学習基本計画に基づき、生涯学習振興の意義や目的を市民と共有し、ともに考え学ぶ場として、「古賀市生涯学習笑顔のつどい」を開催することにより、さまざまな人や団体が育ちあい、つながりあう地域社会を創造する、笑顔かがやく生涯学習社会の実現をめざす。 また、生涯学習・社会教育に関する個々の活動が交流し、人と人、人と地域、人と活動がつながり、その活動が新たな活動を生み出し、既存の活動を広げていく仕組みを構築する。</p>		
日時	平成29年7月17日(月・祝) 10:00～12:00	会場	リーパスプラザこが(古賀市交流館) 多目的ホール
来場者	行政区長、分館長、分館主事、校区コミュニティ役員、社会教育関係団体及び青少年育成団体、市民活動団体、学校教育関係者、行政職員 等 約195人	参加者	約60人
担当課	生涯学習推進課	担当係	社会教育振興係
内容	<p>活動発表 ・玄界高等学校邦楽部: 高校生による邦楽の演奏の披露 ・NPO法人古賀新宮子ども劇場: 小学生による合唱</p> <p>実践報告 ・千鳥校区コミュニティ: 自主防災合同避難訓練、福祉会合同そうめん流し、火の用心巡回等の活動紹介 ・松原ネット花見: 松原清掃や、子どもの見守り、花見っこマラソン大会などの活動紹介 ・質疑応答及び、助言者によるまとめ</p>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・20代、30代といった若い世代の参加人数が少ない。(若い世代によって構成される団体の発表・報告を取り入れることを検討。) ・校区コミュニティ活動における子どもの参加や、学校との連携を視野に入れた場合、PTAや子ども会に所属している方の、つどいへの参加者を増やすことが課題となっている。 		

平成29年度文化芸術事業報告書(公共施設美術品展示)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 眠った宝を起こす — 行政がおこす — 短期		
目的	・市庁舎市民ホールに絵画等の展示を行い、潤いのある空間を演出し、文化芸術振興を図る。 ・文化芸術資源の活用をし、魅力を広く伝えられるよう積極的に発信する。		
日時	下記のとおり	会場	古賀市役所 市民ホール
来場者		参加者	
担当課	文化課	担当係	文化振興係
内容	糟屋美術展、MOA古賀市児童作品展、古賀市こども美術展等、近隣で開催された美術展で受賞した古賀市民の作品を展示。市民や職員が頻繁に行き交う空間に展示することで、古賀市が誇る文化芸術作品の発表の場となると共に、市民がよりクオリティの高い作品を身近に鑑賞できる機会の提供にもなっている。基本的に1ヶ月ごとに作品を入れ替える。		
	4月	洪田 玲子	第44回糟屋美術展福岡県美術協会賞 想い出
	5月	長崎 敬次	第44回糟屋地区美術展糟屋地区文化協会連合会賞 離合
	6月	柴田 美知枝	第44回糟屋地区美術展糟屋地区議長協議会賞 宮地獄神社
	7月	浅川 武夫	第43回糟屋美術展 糟屋地区議長協議会賞 五穀豊穡への祈り
	8月	長岡 じゅん	MOA美術館古賀市児童作品展市長賞 舞の里小学校4年生(受賞当時) 川ざらい
	9月	上田 耕平	第72回県展 入選山村の廃校舎
	10月	長崎 邦仁	第72回県展 入選 春爛漫
	11月	中川原 信子	第29回全国水墨画秀作展 芸術新聞社賞 夢想
	12月	平良 郁子	第65回二科会写真部展 入選 春うらら
	1月	鶴田 直敏	第72回県展 入選 光跡
	2月	古賀竟成館高等学校 ベーシックデザインコース 萬 千紗	第32回福岡地区美術・工芸展 生徒特選 イチジツセンシュウ
	3月	東小5年 田邊 一陽 花鶴小1年 中村 優哉 古賀中2年 岩本 実涼	古賀市こども美術展 市長賞
成果・課題	・前年度または今年度にすばらしい成績を残された方の作品を1ヶ月ごとに展示することで、来場する人に飽くことなく優秀な作品を鑑賞してもらえた。 ・作品を見る目的で、市役所を訪れる人もいた。 ・上記の美術展以外の受賞作品も展示対象に入れるべきか等検討する。		

平成29年度文化芸術事業報告書(文化教養向上事業)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 眠った宝を起こす — 行政がおこす — 長期		
目的	文化活動をとおり、参加した市民同士の交流の場・コミュニケーションの場を作るとともに、参加者の人権意識高揚へつなげる		
日時	通年(各教室、月2回)	会場	隣保館・2集会所
来場者	市民	参加者	生花:8人 民舞:各5人
担当課	隣保館	担当係	
内容	主に、会場の近隣住民を対象とし、下記内容にて実施。 生花、民舞、各種文化教室を実施する。(各教室月2回) 生花教室:1教室 民舞教室:2教室		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・文化活動を通し、地域住民の交流およびコミュニケーションの場を作ることができた。 ・隣保館が開催する「ひだまり館まつり」等への作品出展に向けた活動や、日々の生活の中に活動の成果が見出すことができてきた。 ・住民相互の人権についての理解・認識ができる場を作ることができつつある。 ・教室の一つ一つが、交流の場となっているものの、受講者が自ら講座等を開催したり、活動を進めていく人材になりつつある。 ・参加者も固定化されてきているため、幅広く参加できる体制作りを検討する。 		

平成29年度文化芸術事業報告書(小学校親子読書活動促進事業)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再確認する — 行政がおこす — 短期 古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期		
目的	家庭における読書活動の重要性を認識すると共に、仲間と共に活動することで、更なる読書の活発化を図る。		
日時	<ul style="list-style-type: none"> ・親子読書会:各小学校で随時 ・読書講演会「ものがたりライブ」 平成29年10月28日(土) ・古賀市親子読書のつどい 平成30年2月3日(土) 	会場	<ul style="list-style-type: none"> ・定例親子読書会:各小学校にて実施 ・読書講演会「ものがたりライブ」 :交流館多目的ホール ・古賀市親子読書のつどい :交流館多目的ホール
来場者		参加者	会員数:73人 読書講演会「ものがたりライブ」:80名 つどい参加者:240名
担当課	文化課	担当係	図書館係
内容	<p>【定例親子読書会】 各小学校で随時活動 8小学校にあり 会員数:73人 各小学校で読書会を実施したり、講師を招き読書から発展した活動を行った。</p> <p>【児童文学作家のスペシャルおはなし会】 参加者 80名 10月28日(土)児童文学作家 杉山 亮さんを迎え、スペシャルおはなし会を実施。</p> <p>【古賀市親子読書のつどい】 参加者数:240人 平成30年2月3日(土)実施 各学校の活動の発表を行った。</p>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小学校児童や保護者に市内各小学校で行う親子読書会への参加を促すことで、親子で一緒に本を読む時間を持つことや読書の楽しさにふれたり、親子の仲間と共に活動することで読書の幅を広げ、深めることができた。 ・今年度初の取組で、児童文学作家によるおはなし会を実施した。生の語りを聞くことの体験ができ有意義な時間を過ごすことができた。 ・各学校での活動では、読書活動を親子で楽しみ、読書習慣を育むことができている。 ・つどいでは、各学校からの発表が主だが、各親子読書会との交流や情報交換ができるようなしくみについても検討の価値がある。 ・共働き世帯の増加により親子読書会の加入世帯の減少が見られる。1小学校では、会員が集まらなかった。参加可能な世帯だけでなく、親子読書活動を広げるための方向性を考えていく必要がある。 		

平成29年度文化芸術事業報告書(図書館まつり事業)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再確認する — 行政がおこす — 短期 古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	幅広い年齢層の市民、利用者に読書活動の普及と図書館利用の促進を図る。		
日時	10月27日(金)～10月29日(日)	会場	リーパスプラザ こが 図書館 交流館 歴史資料館
来場者	期間中入館者数 3,241人	参加者	イベント参加者 657人
担当課	文化課	担当係	図書館係
内容	【図書館まつり】 ・ブックリサイクル(ロビー) 参加者:331人 図書館で除籍した本を利用者に提供。 ・ことちゃんぬりえコンテスト、川柳コンテストを実施、募集し、ギャラリーに掲示。 ぬりえ等の優秀作品やクイズの正解者には図書カードをプレゼント。 ・しおり作り ・布の絵本展示(こがめルーム) ・本の間鍋 ・ビブリオバトル ・読書講演会「ものがたりライブ」講師:杉山 亮さん(児童文学作家、ストーリーテラー)		
成果課題	・ぬりえ、川柳の募集、手作りしおり、ビブリオバトルなどを行い、幅広い世代の方に楽しんでいただき入館者を増やすことができた。 ・読書講演会は、100人を超える参加者で大変好評であった。 ・更なる読書活動の推進のため、広い周知を行う必要がある。		

平成29年度文化芸術事業報告書(読書活動促進事業)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再確認する — 行政がおこす — 短期 古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	市民や読書ボランティアに対して、講座や講演会を開催し、市民の多様な学習機会を提供・支援し、読書活動の促進を図る。		
日時	4月21日他	会場	リーパスプラザこが 歴史資料館 中会議室他
来場者		参加者	477人
担当課	文化課	担当係	図書館係
内容	読書講演会及び講演会等を開催し、読書の楽しみを拡げたり、読書活動の推進を行った。 ・子ども読書の日イベント 本と遊ぼう全国訪問おはなし隊 79人 はじめての子ども落語 46人 ・読書ボランティア講座 「絵本の力」を届けよう 39人 ・東医療センター連携講座「図書館で学ぶがんシリーズ」 36人 ・親子でラジオ作り(福岡県電波適正利用推進員協議会) 70人 ・暮らしの講座「野菜づくりのコツと裏ワザ」 39人 ・読書講座「わたしの川柳」 30人 ・読書講演会「杉山亮のものがたりライブ」 104人 ・ビブリオバトル 28人 ・読書講座「三島由紀夫をよむ～橋づくし」 19人		
成果課題	・文学講座だけでなく、暮らしの講座「野菜づくり」や「医療講座」を実施したり、ビブリオバトルなど参加型の講座を実施することで、利用者のニーズを広げることができた。情報化社会の現在、時代の先を考えた講座の計画が必要だと感じた。 ・今後も、市民のニーズや地域の課題に対応した情報提供等の充実や促進に努めたい。		

平成29年度文化芸術事業報告書(学校図書館・公共図書館相互貸借事業)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再確認する — 行政がおこす — 長期 古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期		
目的	図書館利用者・市内小中校児童生徒に対し、インターネット横断検索を利用した相互貸借を行うことで、国・県・市の公共図書館の図書資料を有効活用し、必要とされる情報及び資料を提供する。		
日時	随時	会場	古賀市図書館⇄他市図書館
来場者		参加者	
担当課	文化課	担当係	図書館係
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公共図書館及び学校図書館ネットワークを使い、横断検索で資料の検索を行い、公共図書館間や学校図書館間で相互に貸借を実施。 ・リクエストカードに要望を書いてもらい、その希望に沿って他市・他県から相互貸借を実施。 ・学校図書館ネットワーク(e-slip)を活用し、市内小中学校間の利用を円滑に実施。 ・市立図書館から小中学校への貸出冊数:1,343冊(年間) ・学校図書館の市民開放用一般図書の配本を試行実施。 ・約1か月40冊以内。貸出冊数:3,396冊(年間) ・国・県・市の公共図書館ネットワークを活用し、相互貸借を行う。 ・相互貸借数:3,517件(年間) 		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館に所蔵のない資料を他公共図書館等と貸し借りすることで、限られた予算と図書資料の有効活用ができる。 ・情報化社会に対応したインターネットによる相互貸借を活用することで、利用者の利便性向上を図る。 		

平成29年度文化芸術事業報告書(セカンドブック事業)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再確認する — 行政がおこす — 長期 ざわめきづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	読書に対する子どもの興味・関心を高め読書好きな子どもを育成すると共に、保護者が子へ本の読み聞かせをすることでお互いに心豊かな時間を過ごし絆を深める一つの機会として家読の推進を目的とする。		
日時	下記のとおり	会場	図書館 こがめルーム サンコスモ古賀 すこやかホール前
来場者		参加者	引換券送付人数:514人 配布人数:4697人(引換率 91%)
担当課	文化課	担当係	図書館係
内容	<p>【3歳になる子どもへのセカンドブック配布事業】</p> <p>3歳の誕生日を迎える子どもと保護者に絵本の引換券を送付し、サンコスモ古賀で開催する「3歳児健診」終了後に、1冊プレゼントする。更に、読書のきっかけづくりや読書の習慣をつけてもらうため「セカンドブックのしおり」を併せて配布し、本を通じて親子での豊かな時間がもてるように役立てていただくようにした。</p> <p>3歳児健診と並行して、市立図書館では、第4日曜日の11時30分～を基本に、「セカンドブックおはなし会」を実施し、図書館でも本を受け取ることができるよう、また、セカンドブックの意義をゆっくりと司書がお話する機会を設けた。</p> <p>加えて、図書館内に「セカンドブックコーナー」を設置し、おすすめの本を展示し、親子で本を楽しむスペースを確保した。</p>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度は、配布率が伸びず、54%だった。周知不足や忙しい保護者が受け取ることが難しいと考え、予防健診課が実施している「3歳児健診」に出向き配布するようにした。当初、しっかりとセカンドブック事業の意義を保護者にお話して渡すことを目標としていたが、どんな環境の親子にも本がしっかりと行き届くことこそ第一だという認識に立ち返り、配布方法を変更した。平成29年度は、配布率が91%となり多くの親子に手渡すことができた。 ・親子での絵本を通じたふれあいの時間を作っていただくと共に、市立図書館の登録や貸出しにも結びつけていきたい。 		

平成29年度文化芸術事業報告書(読み聞かせ促進事業)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再確認する — 行政がおこす — 長期 古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書活動の推進。 ・読書活動に関する興味関心を深める。 ・図書館を身近に感じてもらう。 		
日時	下記のとおり	会場	リーパスプラザこが図書館 こがめルーム おはなし会スペシャル: 歴史資料館 中会議室
来場者		参加者	総参加人数 2,125人
担当課	文化課	担当係	図書館係
内容	<p>絵本の読み聞かせを中心に紙芝居、手遊び等を交えながら、また、必要に応じて読書ボランティア団体の協力を受け、おはなし会を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうようおはなし会(毎週土曜日)11時～11時30分 年52回 人数:1153人 ・赤ちゃんおはなし会(第2水曜日)11時～11時20分、11時40分～12時 年24回 人数:464人 ・小さい子のおはなし階(第3水曜日)11時～11時30分 年12回 人数:253人 ・セカンドブックおはなし会 月1回 年12回 人数:41人 ・小学生向けおはなし会(夏休み、冬休み、春休み) 年6回 人数:38人 ・おはなし会スペシャル(7月17日) 人数:89人 <p>古賀市内6つの地域文庫で活動している市民による、群読や大型絵本の読み聞かせやストーリーテリングや人形劇等を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・えいごでおはなし会(9月30日) 人数:87人 		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階にあわせたおはなし会を定期的実施することで、多くの親子の参加があった。 ・「おはなし会スペシャル」は、夏休み恒例の催しものとして定着しているが、子どもたちが読書に親しむきっかけになるよう、演目と併せて原作も紹介したことで本を借りていく姿が見られた。また、プログラムの幕間に地域文庫の紹介、パネルの展示も行うことにより文庫活動への関心が深まった。更なる地域文庫との連携の強化と、地域文庫への支援を行っていく必要がある。 ・えいごでおはなし会にはじめて取り組んだが、予想を上回る参加人数(87人)でこがめルームがいっぱいになった。関心をもっている親子が多いことがわかり、市民のニーズを知ること、ニーズに合わせた取り組みを考えていくことの必要性を感じた。 		

平成29年度文化芸術事業報告書(コスモス市民講座)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期 環境づくり — 行政がおこす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす		
目的	社会の成熟化に伴い、幅広い年代の人々の学ぶ意欲が高まっている。 人々が生涯のいつでも自由に学習の機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価されるような生涯学習社会の実現をめざしている。 その一環として、「市民が主体となって学びあい、教えあい、高めあうことにより、心豊かに学び続ける人が育つまちづくり、仲間づくりに貢献すること」を目的に市民講座を開催する。		
日時	平成29年5月～平成30年1月	会場	・ リーパスプラザこが「交流館」 ・ " " "中央公民館" 他
来場者	・ 受講生 ・ 一般市民	参加者	1,242人
担当課	生涯学習推進課	担当係	公民館係
内容	別紙のとおり		
成果・課題	<<成果>> ・ 年度毎の受講者数(延べ)が近年で最多となった。 ・ 市民講座「土を作ろう」がきっかけで、自主活動へと発展した事例も生まれた。 【公開講座】では、特に9月実施の「ラテンのリズムに乗って」(於:公民館大ホール)が、当時の市民の学習ニーズとマッチして多数の参加をいただき、アンケートでも高い評価を得た。 【気軽に始める1日講座】は、かなりの講座数を確保し、学習の機会の提供・きっかけづくりとして生涯学習のすそ野を広げることが出来た。なかでも「高校でのパソコン講座」は、地元高等学校との連携で、学生が“教える学び”市民講座受講生が“教わる学び”という学びと実践の循環が活きたモデル的な講座となっている。 【市民持込み企画講座】では、「インスタグラム入門」「パン教室」が非常に人気で、講座数を増設し対応した(講師料は発生しないので、ご好意によるもの)。 <<課題>> ・ 生活課題の解決に即した市民の学習ニーズの把握 ・ 若年成人層、就業世代の参加の拡充について、研究 ・ 学んだことを家庭や地域で活かしているかの把握等 ・ 地域資源(ひと・もの・こと)の掘り起こし ・ 地域公民館活動との連携		

平成29年度コスモス市民講座 事業報告

◎ 展示会

	内容	開催日時
1	平成29年度市民講座 紹介	4月8日(土)~30日(日)
2	「野菜をたべましょう」展示	5月9日(火)~5月18日(木)
3	平成29年度市民講座 報告	12月11日(木)~ 30年1月31日(木)

1.公開講座 (5月~30年1月) << 受講料:無料/一般参加 可 >>

	講座名	開催日時	講師	受講者数
1	開講式・講座説明 & 公開講座「野菜を食べましょう」	5月18日(木) 10時~12時	野菜ソムリエプロ 吉田 聡	3
2	後期講座説明・公開演奏会 「ラテンのリズムに乗って」	9月18日(祝・月) 14時~15時30分	Pinto, con Pintura (ピントコンピントウーラ)	394
3	公開講座「知ってみよう 生活習慣病」	10月26日(木) 10時~12時	健康管理士一般指導員 加茂 幸江	37
4	閉講式・講座報告 & 公開演奏会 「ソプラノ声楽家によるクラシック鑑賞」	平成30年1月25日(木) 10時~12時	声楽家(ソプラノ) 松竹 玲奈 ピアノ奏者 吉本 令子	66
			小計	583

2.しっかり学べる定期講座 通年(6月~12月) 全7回 << 受講料:1,800円 >>

	講座名	開催日時	講師	受講者数
1	頼れるおやじ	第3水曜日 10時~12時 6/21・7/19・8/23・9/20・ 10/18・11/15・12/20	回ごとに選定 荒牧絹世、古賀市陶芸同好会、サンフレッシュバン教室、玄海そば塾、河野昭七	14
2	ふるさとを訪ねて	第3木曜日 10時~12時 6/15・7/20・8/17・ 9/21・10/19・11/16・12/21	回ごとに選定 古賀すたいる、古賀市観光協会、古賀市史跡案内ボランティア	17
3	みんなで歌おう	第2火曜 10時~12時 6/13・7/11・8/8・9/12 ・10/3・11/14・12/12	回ごとに選定 井上裕子、オサビア、Pinto con Pintura、末次威生	60
4	世界の料理 (前期)	第3金曜日 10時~12時 6/16・7/21・8/18	回ごとに選定 蕭 光、金 恵貞、タガドンマルセラ	14
5	おうちごはん(後期)	第4金曜日 10時~12時 9/22・10/24 11/24・12/22	管理栄養士 大隈喜代美	20
			小計	125

3、気軽に始める1日講座 前期(5月～8月) << 受講料:300円/回 >>

講座名	開催日時	講師	受講者数
1 野菜のプロが薦める 野菜クッキング	5月18日(木) 13時30分～15時30分	野菜ソムリエプロ 吉田 聡	20
2 土を作ろう (全2回)	①6月1日(木) ②6月8日(木) 9時～11時	柳井 勝	10
3 バレエストレッチ	6月15日(木) 13時30分～15時	ユカリクラシックバレエ代表 光永祐香里	15
4 魅力ある旅を楽しむ	6月20日(火) 10時～12時	一般旅行業務取扱主任者 旅程管理主任者 篠崎辰美	17
5 ミニ盆栽	7月5日(水) 10時～12時	古賀市緑のまちづくりの会 青崎安孝	20
6 押し花で花あそび	7月12日(水) 10時～12時	ふしぎな花倶楽部 押し花サロン華 代表 白川くみ子	12
7 百人一首を美文字でなぞる	7月14日(金) 10時～12時	松石書道教室 松石樹泉	20
8 大人のぬり絵	7月26日(水) 10時～12時	北川美雪	26
9 はじめようレザークラフト	7月28日(金) 10時～12時	本田優世	7
前期計			147

気軽に始める1日講座 後期(9月～30年1月) << 受講料:300円/回 >>

1 はじめてのパッチワーク (全2回)	①9月6日(水) ②9月13日(水) 10時～12時	パッチワーク愛好会 加来 厚枝	10
2 大人からのバレエ	9月7日(木) 13時30分～15時	ユカリクラシックバレエ 光永 ゆかり	17
3 楽しく脳トレ	9月14日(木) 10時～12時	佐藤 仁	27
4 グランパ・グランマの のんびり英会話	9月15日(金) 10時～12時	英会話講師 荒川 亜希	13
5 シニア向けスマートフォン 初心者講座 午前	10月12日(木) 10時～12時	一般社団法人 STANDARD KOGA (古賀すたいる 戸田祐子・金子美聡)	10
	シニア向けスマートフォン 初心者講座 午後		10月12日(木) 13時～15時
6 安全吹き矢 フリーブロー	10月13日(金) 10時～12時	古賀市軽スポーツ協会 林田 良	18
7 庭木の手入れを楽しもう	10月17日(火) 10時～12時	緑計 多喜 三郎	33
8 アイシングクッキー&デコカップ ケーキ2Day講座 (全2回)	①11月1日(水) ②12月6日(水) 10時～12時	Lepre(ルプレ) 牟田口 朝美	10
9 高校でパソコン教室 (全2回)	①12月20日(水) ②12月21日(木) 14時～16時	古賀竟成館高等学校 生徒	16
後期計			164
小計			311

4、地域の魅力発見講座 前期・後期 << 受講料:300円/回 >>

講座名	開催日	講師	受講者数
1 木彫りのレリーフ(全2回)	①6月24日(土) ②7月8日(土)10時~12時	平野 洋(花鶴校区)	5
2 薬王寺の星空観測	9月8日(金) 19時~21時 (薬王寺水辺公園駐車場)	橋本 洋	6
小計			11

5、市民持ち込み企画講座 前期(5月~8月) << 受講料:100円/回 >>

講座名	開催日時	講師	受講者数
1 花見でいっぱい!! 健康ウォーク	5月28日(日) 10時~12時	古賀市歩いてんDo好会 佐藤 仁	25
2 笑ってハッピー 笑って元気(全2回)	①6月2日(金)10時~11時30分 ②6月30日(金)10時~11時30分	なないろ笑いヨガクラブ 亀石 恵	17
3 囲碁を体験しませんか (全2回)	①6月 9日(金) 10時~12時 ②6月23日(金) 10時~12時	古賀市囲碁同好会 古賀、永井 他	10
4 気持ちを添える一筆箋 (全2回)	①6月22日(木) 10時~12時 ②6月29日(木) 10時~12時	人材バンク登録 渋谷 雷絵	15
5 浴衣の着付け教室(全2回)	①7月22日(土) 10時~12時 ②7月29日(土) 10時~12時	着付け百合の会 講師 杉山 淑子	10
6 インスタグラム入門(全2回)	①8月19日(土)10時30分~12時 ②8月26日(土)10時30分~12時	古賀すたいる 花田 亜紀	13
前期計			90

市民持ち込み企画講座 後期(9月~30年1月) << 受講料:100円/回 >>

講座名	開催日時	講師	受講者数
1 はじめての読み語り(全2回)	①9月 5日(火)10時~11時30分 ②9月 26日(火) 10時~11時30分	日本朗読検定協会 プロフェッサー 中村 なぎさ	20
2 シニアの健康レクササイズ (全2回)	①9月 28日(木) 13時30分~15時 ②10月 26日(木) 13時30分~15時	健康レクササイズインストラクター 柳本 早百合	22
3 はじめての俳句(全2回)	①10月11日(水) 10時~12時 ②11月8日(水)10時~12時	井上 文子	16
4 スポーツでRe:フレッシュ!	10月20日(金) 10時~12時	古賀市スポーツ推進委員	18
5 レースでブローチを 作りましょう(全2回)	①10月24日(火) 10時~12時 ②12月5日(火) 10時~12時	レース編物技能検定審査委員 金山 志保	7
6 パン教室 1(全2回)	①11月5日(日)10時~12時 ②12月 3日(日)10時~12時	Japan Home Baking School 師範 結城 俊子	20
パン教室 2(全2回)	①10月15日(日)10時~12時 ②11月3日(祝・金) 10時~12時		13
7 イングリッシュ・ハンドベル を奏でましょう(全2回)	①11月22日(水) 19時~21時 ②11月29日(水) 19時~21時	ドリーミーリンガーズ メンバー	6
後期計			122
小計			212

平成29年度文化芸術事業報告書(自然史・歴史講座)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 短期 環境づくり — 行政がおこす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期		
目的	市民が自然、歴史について学ぶ機会を提供する。		
日時	下記のとおり	会場	下記のとおり
来場者		参加者	下記のとおり
担当課	文化課	担当係	文化振興係

内容

- 第1回 現地学習『見る！聞く！九州歴史資料館見学』〔九州歴史資料館〕
 実施日：6月4日(日) 参加者：33人
 内容：○九州歴史資料館研究員による講演
 「馬冑を中心とした今年度の科学的調査の成果」
 ○馬冑・辻金具の展示と船原古墳パネル展を見学
 ○バックヤードツアー
- 第2回 講演『戦国時代の薦野氏と米多比氏』〔歴史資料館 中会議室〕
 実施日：7月1日(土) 参加者：126人
 内容：古賀市ゆかりの武将である薦野氏と米多比氏及び
 戦国時代の古賀の地の状況について、歴史資料を基に講演。
- 第3回 夏休み子ども歴史講座『船原古墳と馬具のナゾ』〔歴史資料館 中会議室〕
 実施日：8月18日(金)・8月20日(日)20日は午前午後の2回
 参加者：22人
 内容：船原古墳出土遺物の最新情報に関する講話
 石膏を使った杏葉作成
- 第4回 現地学習『歴史ウォーク in 秋月』〔朝倉市秋月地区〕
 実施日：12月1日(金) 参加者：40人
 内容：古賀市の史跡案内ボランティアによる解説
 秋月観光案内ボランティアガイドと巡る現地学習
- 第5回 現地学習『古墳探訪～船原古墳と世界遺産関連史跡をめぐる～』
 〔船原古墳・宗像大社神宝館・新原・奴山古墳群・カメラアステージ歴史資料館・手光波切不動古墳〕
 実施日：平成30年3月22日(木) 参加者：37人
 内容：古賀市文化財係職員による船原古墳の現地学習
 宗像大社神職の案内による宗像大社神宝館見学
 福津市文化財係職員による福津市内古墳の現地学習

成果・課題

- ・第1回講座の現地学習では、九州歴史資料館研究員による講演を聞いた後に、2班に分かれ、日ごろは入ることができないバックヤードで、修復や保存作業の様子、現在保存処理中の鳳凰文心葉形杏葉を間近に見学し、その精巧な作りや高度な技術に感動した。参加者は九州歴史資料館研究員にも質問をするなど大変熱心に見学し、船原古墳への関心を高めることができた。
- ・第2回講座の講演で題材として取り上げた薦野氏・米多比氏は郷土の武将であり、古賀市に地名として残っていることから、市民の興味も高く、多くの参加者を集めることができた。
- ・第3回講座では、歴史に興味のある子どもたちが集まったため、大変意欲的な活動をする事ができた。船原古墳への知識とともに、大昔の古賀市にも有力者がいた可能性を学んだことで、古賀市の歴史への関心を高めることができた。
- ・第4回講座の現地学習では、アンケート回答にて97%の参加者が有意義だったと答えており、大変好評であった。定員を超える申し込みもあったことから、市民の歴史に対する興味の高まりを感じる事ができた。
- ・第5回講座の現地学習では、各所で専門の方からの説明を受けることができ、参加者が質問したり、各々の情報を交換し合ったりするなど、大変有意義な現地学習となった。
- ・更なる自然や歴史伝承活動の推進のため、当事業について広く周知を行う必要がある。
- ・現地学習の参加希望者の増加に対する検討を要する。

平成29年度文化芸術事業報告書(芸術祭)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再確認する — 行政が起こす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期			
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市で行われているグレードの高い舞台芸能、芸術作品の発表・鑑賞の機会を提供し、歴史深い芸能文化や文化芸術への興味関心を深める。 ・伝統的な芸能・芸術の技能、能力、知識を、発信、伝承、還元するための機会の充実を図る。 			
日時	下記のとおり	会場	リーパスプラザこが中央公民館大ホール リーパスプラザこが歴史資料館ギャラリー・中会議室	
来場者	芸能:958人 芸術:817人	参加者	芸能(出演者数):43人 芸術(出品者数):65点	
担当課	文化課	担当係	文化振興係	
内容	市内の文化芸術活動団体の師範・師匠クラスによる活動発表の場として、展示5日間、舞台発表1日実施。			
	芸能	5月21日	入場者数 958人 日本民謡大久保会、津軽三味線小山会、古賀三線島唄会、クロスパル古賀和太鼓教室、古賀市半面会、啓峰吟詠会、香雲堂吟詠桜峰会、扇菊会、紫之の会、松富士会、三千久賀会、茂寿の会、藤間勸涌の会、Halau Hula O Hana Aloha、ユカリクラシックバレエ、日本歌謡連盟、みさカラオケ教室、吉住歌謡教室、おかはちウクレレで歌おう♪、舞の里おやしバンド、Natural ONE、リトミックサークルいちごみるく	
	芸術	17日	108人	日本画・水墨画 7点、洋画 6点、書 14点、陶芸 2点、工芸・彫刻 6点、写真 11点、華道 4点、花卉・盆栽 3点、茶道 1席
		18日	166人	
		19日	129人	
20日		105人		
	21日	309人		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・どの部門でも、製作者が高齢になられ出展数が減少傾向にある。 ・「古賀の宝みつけた」コーナーの出展企業、個人の発掘等について日常より情報収集が必要。 ・写真等撮影場所、作家の思いなど知りたい意見があり、今後検討したい。 ・今年度より出展者の経歴を表示したが、次回より出展者に明記してよいかの意思確認を徹底する。 			

平成29年度文化芸術事業報告書(文化祭)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期			
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・古賀市で文化芸術活動をおこなう個人や団体を積極的に活用し、古賀に根付く多彩な文化芸術の魅力を発表・鑑賞・体験する機会を提供する。 ・発表する機会を提供し、日々の活動を促すことで、文化芸術の根付きを促進する。 			
日時	下記のとおり	会場	リーパスプラザこが中央公民館大ホール リーパスプラザこが歴史資料館ギャラリー・中会議室	
来場者	芸能:3,059人 芸術:1,011人	参加者	芸能(出演団体数):39人・芸術(出品者数):170人	
担当課	文化課	担当係	文化振興係	
内容	古賀市で活動する文化芸術活動団体の発表会として、展示を6日間、舞台演技披露を3日間実施。			
	芸能	10月7日	入場者数 836人 日本民謡大久保会、絃楽/たのしみ三味線・津軽三味線、古賀三線島唄会、クロスパル古賀和太鼓教室、箏曲糸の会、古賀市相撲甚句会、古賀市半面会、啓峰吟詠会古賀支部、啓峰吟詠会古賀第二支部、神伝真正早流流剣詩舞道、鶴州流福岡吟詠会、壽駒会、松富士会、三千久賀会、茂寿の会、藤間勸涌の会、あすかダンススクール、サンフレッシュダンス、Halau Hula O Hana Aloha、ハラウフラオ マカナアロハ、にこにこジャズダンス、よさこい古賀連舞、ユカリクラシックバレエ、舞の里エトワールバレエ、うさぎドリーム、RingooDing Family、いびき拳、女声コーラススクールウイング、日本歌謡連盟、みさカラオケ教室、吉住歌謡教室、おかはちウクレレで歌おう♪、古賀マンドリンクラブ、舞オカリナ教室、アンサンブルポピー、メロディ缶【市民の部】 Double D、古賀市市民劇団DAICOON(子ども)、さわやか会	
		8日	1,063人	
		9日	1,160人	
	芸術	4日	150人	洋画 14点(洋画の会)、日本画 7点(蒼墨同好会、日本画教室「藍」古賀教室)、写真 9点(写団こが)、書 45点(川口書道教室、さざなみ会、一五会、愉の筆、渋谷ペン習字教室)、文芸 5点(しきなみ短歌会)、陶芸 64点(古賀市陶芸同好会《水曜会》、《木曜会》、古賀陶友会)、工芸 8点(押し花サロン華、押し花幸葉、真友の会)、茶道 1席(表千家宗希会)、園芸 3点(古賀市花卉盆栽同好会)、華道 14点(家元池坊の会、小原流瑞穂の会)
		5日	101人	
		6日	78人	
		7日	220人	
		8日	223人	
		9日	239人	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援課の外出促進事業の効果もあり、入場者数が増加した。 ・作品の種類が書、陶芸、日本画、洋画、写真に偏り工芸等の出品が少なく出展PRを進めたい。 ・平成28年度より展示期間を増やしたことで入場者数は増えたが、受付等の負担が大きく、検討の必要がある。 			

平成29年度文化芸術事業報告書(コンサート)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期		
目的	・生の演奏を気軽に、定期的に、身近で発表・鑑賞する機会を提供し、潤いある文化都市を目指す。		
日時	下記詳細	会場	リーパスプラザこが交流館フォーラム
来場者	1,143人	参加者	
担当課	文化課	担当係	文化振興係
内容	カフェで聞くように、気軽にリラックスしながら聴け、参加者同士が交流できるコンサート。 文化協会会員及び公募により出演者を決定する。		
	土曜日	サロンコンサート	13時30分～15時
	7月15日	海山恋し!	115人 ミュージカルオペラk.i. ハラウフラオマカナアロハ
	9月16日	空高く澄み渡る	210人 ゴスペルオールフルーツ ミヤギマモル
	12月9日	寒さもひとしお年の瀬	150人 日本民謡大久保会 ユカリクラシックバレエ
	1月20日	福寿草の花の季節	116人 大正琴アンサンブルポピー 古賀三線島唄会
	3月17日	春光うらら	92人 Natural ONE 女声コーラスコールウイング
	木曜日	ランチタイムコンサート	12時30分～13時
	4月20日	花の便りが次々と	67人 シャングリラの会
	5月18日	新緑の香り満ちて	64人 うさぎドリーム
	8月17日	入道雲がわき立つころ	105人 おかはちとウクレレで歌おう
	9月21日	虫のコーラス聞こえます	87人 日本民謡大久保会
	11月16日	陽だまり恋し…	75人 Natural ONE
	2月15日	春はもうそこまで	62人 ミュージカルオペラk.i.
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援課の高齢者外出促進事業への参加の反響が大きく、全体の2分の1がリピーターである。 ・交流館フォーラムを会場としているため、コンサート目的ではない通りすがりの人も足を止めてコンサートを聴いている。 ・発表の場を提供したことで、出演者からは「励みになる」との言葉をいただいた。 		

平成29年度文化芸術事業報告書(童謡まつり)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・出演する市民を公募することで、受け継がれてきた童謡の魅力幅広い世代に伝える。 ・子どもたちにも童謡を発表・鑑賞する機会を提供し、日本に根付く童謡を次世代へ引き継ぐ。 		
日時	平成30年2月25日(日)	会場	リーパスプラザこが中央公民館 大ホール
来場者	4,451人(出演者除く)	参加者	出演者:1,079人
担当課	文化課	担当係	文化振興係
内容	<p>公募により、エントリーした各団体が童謡の演奏・歌を披露するほか、みんなで歌おうコーナー、独唱コンクール(平成29年度は5歳～小学校6年生がエントリー)等を実施。 なお、当日のステージのバックボードは古賀寛成館高等学校の美術部が作成。 独唱コンクールにおいては、こども美術展と合同で表彰式を実施。</p>		
	合唱 出演 団体	古賀東小学校琴クラブ、舞オカリナ教室、芳賀史江、メロディ缶、暁の星幼稚園、やまびこ幼稚園、古賀市コッコの会、女声コーラスコールウイング、絃楽・たのしみ三味線・津軽三味線、花鶴丘幼稚園、古賀マンドリンクラブ、七色のおんぷMusicRoom♪、ユカリクラシックバレエ、リトミックサークルいちごみるく、久保保育園、ほづみ保育園、ハンドベルグループカトリア、桜草、花見光保育園、NaturalONE、勝田友彰、古賀新宮子ども劇場、Chorまつぼっくり、舞の里パティ保育園、花見南童謡クラブ、アマーピレ&セピア・エコーすみれ、天照幼稚園	
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・雨にも関わらず多くの来場者があったことから、当該事業が市民に浸透していると考えられる。 ・スクリーンに古賀寛成館高等学校美術部の紹介があり、バックボード作成のPRにもなり、好評であった。 ・昼食として、コスモキャンパスにパンとカレーライスの販売を依頼したところ、好評であり完売となった。 		

平成29年度文化芸術事業報告書(こども美術展)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 眠った宝を起こす — 行政がおこす — 短期		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と連携を図り、子どもたちが文化芸術にふれる機会と、子どもの作品にふれる機会を提供する。 ・子どもの文化芸術に対する感性を育み、子どもの視点を取り入れた文化芸術振興を図る。 		
日時	平成30年2月21日(水)～25日(日)	会場	展示:リーパスプラザこが歴史資料館ギャラリー・中会議室 表彰:リーパスプラザこが中央公民館 大ホール
来場者	1,693人	参加者	絵画・書の出展数:740点
担当課	文化課	担当係	文化振興係
内容	市内小中学校の子どもたちの絵画と書を募集し、審査後、5日間展示及び最終日には表彰をする。		
	絵画	小学校=357点 中学校=4点	審査員 原 小夜 氏(福岡県美術協会会員) 藤川 麻利 氏(古賀寛成館高等学校教諭)
	書	小学校=342点 中学校=37点	審査員 芝 武治 氏(福岡県美術協会会員) 二宮 欣山 氏(福岡県美術協会会員)
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は市長賞、市議会議長賞、教育長賞、文化協会長賞の受賞作品に対し、審査員のコメントを添えたことが好評であった。 ・入賞作品をJR古賀駅美術館に展示したことで、入賞者に喜ばれている。 ・書道塾の先生方の協力で書の出展が増え絵画、書の展示バランスがよくなった。 		

平成29年度文化芸術事業報告書(青少年活動支援事業(わくわくフェスタ))

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 眠った宝を起こす — 行政がおこす — 短期		
目的	青少年健全育成のため、古賀市内で活動している青少年育成団体・古賀市外で古賀市内の子どもたちが活動している青少年育成団体が集い、子どもたちのイベントを実施することにより、子どもたちに体験の場を設ける。また、企画運営をとおして、育成団体の連携を深め今後の活動に活かしていく。		
日時	11月26日 日曜日 10時から15時	会場	リーパスプラザこが 市立球技場 他
来場者	2,000名	参加者	ステージ発表:14団体・体験・模擬店:21団体・ボランティア:3団体
担当課	青少年育成課	担当係	青少年育成係
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館大ホールにて、オープニングイベント(開会行事及びアトラクション:玄海古賀太鼓)を開催し、引き続きダンス・演奏等の日頃の成果を披露する子どもたちによるステージ発表。 ・リーパスプラザ大ホールでのイベントは古賀中学校生徒会による司会にて進行。 ・交流館では、マジック・工作・車椅子体験・演劇体験などの体験・もの作りを実施。 ・模擬店にて、うどん・カレー等を販売。 ・子どもたちに、わくわくクリーン隊を募集しイベント会場のごみの回収を行った。 		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○古賀市内の青少年育成団体が集まり、官民共同の事業となっている。 ○年々市外からの来場者が増えている。 ○市内の様々な場所で、事業が行われていたが、来場者が激減することもなく、市内の小学生・中学生を中心として保護者にも定着した事業になっている。 ●市外からの参加者が増えることで、市内で活動する団体が参加できない状況が生まれまいよう配慮が必要。 ●内容が固定化しているという声もあり、今後の開催内容に工夫が必要。 		

平成29年度文化芸術事業報告書(古賀の魅力再発見コンテスト事業)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 眠った宝を起こす — 行政がおこす — 短期 — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期 誇りをおこす — 行政がおこす — 短期		
目的	作品応募者や作品展示を見ていただいた方に古賀市の魅力を感じ、知ってもらうこと		
日時	募集期間:平成29年6月1日～ 平成30年1月12日	会場	
来場者		参加者	作品応募者 111名
担当課	都市計画課	担当係	土地利用政策係
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の募集と審査、受賞者へ表彰状と副賞の授与のため表彰式を実施。 ・部門それぞれに最優秀賞(1点)、優秀賞(2点)、佳作(2点)、特別審査員賞(2点)を設け、受賞者は21名。 ・前年度コンテスト受賞作品の作品展を、古賀市役所市民ホール、リーパスプラザこが交流館、千鳥苑、アクロス福岡、九州産業大学にて開催。 募集部門 【絵画部門】 ①一般の部(中学生以上) ②ジュニアの部 【写真部門】 年齢制限なし 		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> (成果)・応募作品数137点(絵画部門一般の部 15点、絵画部門ジュニアの部 85点、写真部門 37点) (課題)・応募作品の減少(特に、絵画部門一般の部) ・応募作品のテーマ被りや、過去の受賞者の再受賞によるマンネリ化 		

平成29年度文化芸術事業報告書(地域人権啓発事業)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 眠った宝を起こす — 行政がおこす — 長期 古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	人権課題を主軸にした事業を企画・実施し参加する市民に対し啓発を行う。		
日時	下記のとおり	会場	隣保館・2集会所
来場者	市民	参加者	下記のとおり
担当課	隣保館	担当係	
内容	<p>【じんけん平和教室】 対象:市内全小学生(参加者:34名) 開催期間:夏休み期間中6日間 内容:福岡市の大空襲戦跡フィールドワーク、8月9日長崎フィールドワークを中心に事前事後の学習を行い、命・平和の大切さを学ぶことで人権意識の高揚へつなげる事業。</p> <p>【ひだまりパスポート】 対象:市内全小学生(参加者:60名) 開催期間:9月～12月の間の5日間 内容:古賀市内又は近隣のなどの外国語指導助手(ALT)の方を講師として迎え、文化などの違いを感じることで国際的人権感覚を養う事業。</p> <p>【韓国文化講座】 対象:市内在住または勤務地を有する高校生以上の全市民(参加者:19名) 開催期間:9月～3月までの間の計21回 内容:韓国の文化や過去現在の社会情勢などを含めた学習。また日本と韓国の文化交流が学習できる太宰府政庁跡などへのフィールドワークを実施し、一番近い国のことを知ることで、国際的な人権意識の高揚へつなげる事業。</p> <p>【よかよか広場】 対象:近隣市民(参加者計:74名) 会場:隣保館及び2集会所 開催期間:6月～3月までの間の各所20回 内容:音楽(合唱・合奏・聴くこと)やものづくりを通し、地域交流や介護予防などにつなげる。</p> <p>【ひだまり館まつり】 対象:市民(参加者:約120名) 開催期間:年1回 内容:隣保館で行う事業などの成果の発表や、館内人権啓発パネル等による啓発。</p>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・じんけん平和教室では、参加した小学生一人ひとりが、戦争の悲惨さや平和の尊さを認識することで、自分や自分の周囲の人(友だちや保護者)の大切さを学んでいた。 ・ひだまりパスポートでは、講師が、その国と日本の文化の違いや、それにより困ったことなどを子どもたちが認識することで、相手を思いやる気持ちを育むことができた。 ・韓国文化講座では、日本と韓国の文化の違いを知ることで、違いを認識し、理解を深める姿が見受けられた。 ・生き生き音楽校は、参加する市民の交流の場として、広がってきている。 ・ひだまり館まつりでは日頃来館されない市民の方の来館があり、人権啓発等に関して自然な感じでできている。様々な発表や啓発物などに触れることで、それぞれの知識や人権意識は高まってきている。各事業において、参加者の知識や人権意識は高まってきているものの、その内容を更に広げる形にはなれていない部分も感じられるため、学んだことを他の人たちへ広げられるような意識づくりや環境づくりが必要と考える。 		

平成29年度文化芸術事業報告書(読書ノート事業)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期		
目的	子どもたちが市立図書館や学校図書館を利用するきっかけとなるよう、また、本に親しみ、楽しむことで、豊かな心や生きる力を育むことができるよう、読書歴を記録していきことができる読書ノートを配布し子どもの読書活動の推進をしていく。		
日時	4月14日(金)古賀西小学校 4月20日(木)舞の里小学校 4月21日(金)花鶴小学校 4月25日(火)古賀東小学校 4月26日(水)花見小学校 4月27日(木)青柳小学校 5月10日(水)千鳥小学校 5月17日(水)小野小学校 3月1日(木)古賀特別支援学校	会場	各市立小学校 古賀特別支援学校
来場者		参加者	市立小学校に通う新1年生:570人 福岡県立古賀特別支援学校1年生:30人
担当課	文化課	担当係	図書館係
内容	【小学校1年生への読書ノート配布事業】 市内新小学1年生を対象に、市立図書館及び学校図書館で借りた本の書名や作者、感想等を記録することができる読書ノートを作成、配布した。1年生におすすめの本を選び、リストも掲載した。配布については、各小学校へ市立図書館司書が出向いて、おはなし会を実施した上で行った。希望する学校へは、図書館マスコットキャラクターのこちゃん(着ぐるみ)から読書ノートをプレゼントした。		
成果課題	・市立小学校8校へ出向き、おはなし会を行った後、読書ノートを合計570冊配布した。配布後、市立図書館で借りた本の記録シールをもらう子どもの姿が見られると共に、記録をつけた子どもが2冊目の読書ノートをもらいにくることもあった。利用状況についての調査、把握が必要。 ・古賀市内の県立特別支援学校に通う新一年生へも配布を実施することができた。(30冊)		

平成29年度文化芸術事業報告書(中学生読書サポーター事業)

計画の位置づけ	古賀市の個性を起こす — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期		
目的	読書の大切さや面白さを子ども達同士で伝え合い、校内や公共図書館内で発信することのできる「中学生読書サポーター」を養成し、読書習慣の定着や読書環境の充実を図る。		
日時	養成講座:3日間 7月28日(金)、8月9日(水)、8月22日(火) 学校や地域での活動は各自	会場	養成講座:図書館他 活動:各学校 各地域
来場者		参加者	中学生 4人
担当課	文化課	担当係	図書館係
内容	【中学生読書サポーター養成講座】 第1回 7月28日 開講式、カウンター業務、ブックトーク講座 講師:福岡県立図書館ブックトークボランティア 「本の楽しさお届け便」松尾有子さん 第2回 8月9日 ミニブックトーク作成 第3回 8月22日 ブックトーク発表会、閉会式、閉講式(終了証授与) 講師:福岡県立図書館ブックトークボランティア 「本の楽しさお届け便」松本英子さん 事業終了後、校内、公共図書館内、地域等において読書活動の普及活動を行う。		
成果課題	・「福岡県子どもの読書活動充実事業」の補助を受けながら、中学生読書サポーター養成講座を実施し、ミニブックトークに取り組んだ。充実した内容であった。 ・夏休みに3回計画を立てたが、中学生が忙しく、なかなか参加者が集まらない状況があった。 ・図書館の事業「子ども読書の日イベント」において取り組んだ「お楽しみ貸出」にて、中・高生におすすめの本のセット作りや子ども読書会でのブックトーク実演にサポーターを活用した。 ・今後、当事業を活用して学校内や地域での読書の普及活動を進めたい。		

平成29年度文化芸術事業報告書(アート・バス)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期			
目的	年中児童、年長児童及び小中学生が対象。本物の芸術に触れることで豊かな感性を育み、新しい発見や感動を与える機会を創出する。			
日時	下記のとおり	会場	下記のとおり	
来場者		参加者		
担当課	文化課	担当係	文化振興係	
内容	古賀市内の就学前児童及び小中学生(参加希望者)をバスに乗せて、近隣の美術館に連れて行く。平成29年度は子どもの絵画鑑賞のファシリテーターを養成することを目的としたアート・バスも実施。			
	5月28日(日)	大人 (一般市民) ※ボランティア養成講座	福岡県立美術館 「生誕120年中村琢二瑞々しき 画布の輝き」	参加者:17人 コーディネーター:1人 市職員:2人
	6月17日(土)	市内中学生	福岡県立美術館 「生誕120年中村琢二瑞々しき 画布の輝き」	生徒:17人 ボランティア:5人 コーディネーター:1人 市職員:1人
	8月6日(日)	市内年中児・年長児	福岡県立美術館 「風景をとらえる」	児童:8人・保護者8人 ボランティア:14人 コーディネーター:1人 市職員:2人
	10月21日(土)	市内小学生	福岡県立美術館 「郷土の美術をみる・しる・まなぶ」	生徒:13人 ボランティア:7人 コーディネーター:1人 市職員:2人
	1月28日(日)	市内小学生	九州産業大学美術館 「九産大芸術学部大学院卒業 ・修了作品展」	生徒:15人 ボランティア:14人 コーディネーター:1人 市職員:2人
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、九州産業大学の学生にボランティアを依頼しているが、参加人数が減少しつつある等の理由から、他学校へのボランティア募集を行ったところ、福岡教育大学からも希望者がいた。 ・今年初めて就学前児童とその保護者を対象とした。好評であったが、参加者が少なかったため、周知方法を工夫する必要がある。 ・子どもの絵画鑑賞のファシリテーターを目指すボランティア養成講座を実施。子どもの興味を引き出すきっかけ作りの方法を学んだ。受講後ボランティアとして活躍中。 			

平成28年度文化芸術事業報告書(読書推進事業)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期		
目的	読書に対する興味・関心を高め、豊かな心を育てる		
日時	随時	会場	学校図書館
来場者		参加者	保護者 児童 生徒 教職員
担当課	学校教育課	担当係	指導係
内容	図書委員会の運営事務 おはなし会事務(企画への参画・講師依頼・実施) 読書週間事務(企画への参画・広報・実施)		
成果・課題	<p>(成果) 図書の時間に本の調べ方、絵本の読み聞かせ、ブックトークなどを行うことにより、読書指導の充実を図ることができた。</p> <p>地域ボランティア、保護者ボランティアを積極的に活用することが児童・生徒の読書の推進につながった。また、朝の活動で新聞学習、朝読書を取り入れることで知識欲が増し、読書力がついた。</p> <p>各学校で年3回～4回の読書週間を毎年行うことにより、読書週間をきっかけとして読書推進につながる児童・生徒が多くなった。</p> <p>(課題) 図書司書と司書教諭とのさらなる連携のもと読書推進に取り組むこと</p>		

平成29年度文化芸術事業報告書(青少年活動推進事業(アート教室))

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期		
目的	土曜日の子どもの居場所づくりを主目的に、青少年の体験活動の推進の一環として、主に工作をとおして子どもたちの創造性を育む。		
日時	毎月 第3土曜日 10時から12時	会場	青少年総合センター
来場者		参加者	小・中学生:171名・指導大学生:41名
担当課	青少年育成課	担当係	青少年育成係
内容	4月15日 「みんなでつくろう!ポコポコドミノ」 5月20日 「まーるいホロホロしゅわしゅわ」 6月17日 「コガコレ 2017 レインウエアコート」 7月15日 「キッズカラーコーディネーターになろう」 8月19日 「おちゃのこさいさい!水彩画」 9月16日 「子ども商店街へようこそ」 10月21日 「はりこDEランタン」 11月18日 「芸大生から学ぶデッサン教室」 12月16日 「クリスマスハットを作ろう」 1月20日 「ばくはつ!大画面アート」 2月17日 「思い出をラミネートしよう」 3月17日 「プルプルキャンドル」		
成果・課題	○九州産業大学の学生が、工夫を凝らし、限られた時間の中で効果的な指導が行われ、好評を得ている。 ○大学生と一緒に活動することで、日常にない世代間の交流を図ることができる。 ●制作など高学年には物足りない内容だが、水彩画やデッサンなどは、低学年には難しい内容となっており、内容のバランスに工夫が必要。		

平成29年度文化芸術事業報告書(青少年音楽活動支援事業)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 短期		
目的	平成2年に開催された「とびうめ国体」を契機に誕生した「小野小学校マーチングバンド」を前身とする古賀市内の小学生を対象として、音楽に親しめる環境を提供する「古賀キッズプラス」を支援する。		
日時	毎週火・木曜日	会場	小野小学校 せんだんホール
来場者		参加者	12名
担当課	青少年育成課	担当係	青少年育成係
内容	平成29年8月6日 小野校区(薬王寺・谷山・小山田)夏祭り(初参加) 平成29年10月15日 古賀市健康福祉まつり 平成29年11月12日 野幸山幸小野祭り 平成29年11月26日 第17回子どもわくわくフェスタ 平成30年1月21日 第44回福岡県小学校管楽器演奏会 (福岡市民会館) 平成30年2月4日 第19回スチューデント・ジャズ・フェスティバル (福岡西市民センター) 平成30年2月24日 九州交歓演奏会(6年生参加) 平成30年3月25日 第15回定期演奏会~春のコンサート2018~ (リーパスプラザこが)		
成果・課題	○小学生が音楽に親しめる環境を提供し、豊かな情操を育むことができる。 ○市内で行われるイベント等に参加することで、イベントを盛り上げる一助となっている。 ●年々、部員の確保が困難になっている。部員募集の方法に工夫が必要。 ●指導者が1名のため、練習回数の確保が困難になりつつある。		

平成29年度文化芸術事業報告書(生き生き音楽校事業)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	高齢者が音楽活動を通し、仲間と共に楽しみながら認知・嚙下・口腔・肺機能の維持向上を図り、介護予防を推進する。		
日時	各地域において実施	会場	行政区公民館 等
来場者		参加者	延参加者 3,000人
担当課	介護支援課	担当係	介護予防係
内容	<p>【人材育成】 介護予防音楽サポーター養成講座・フォローアップ研修 (養成講座 延145人・フォローアップ研修 延108人)</p> <p>【サポーター活動】 音の輪会・ファーストペンギン。 (ファーストペンギン練習 月2回・音の輪会定例会 月1回)</p> <p>【体験会】 地域で鍵盤ハーモニカを使った音楽校を体験できる。 (延参加者 63人)</p> <p>【鍵盤ハーモニカの貸出】 地域で音楽校を行うが、家でトレーニングできるように貸出を行う。 (貸し出し台数 約300台)</p> <p>【教材作成】 高齢者向け介護予防音楽テキスト作成。 (家トレ鍵盤ハーモニカテキストNO2 平成30年2月発行)</p> <p>【地域活動】 公民館で音楽を使った介護予防活動を行う(鍵盤ハーモニカも含む) (地域介護予防音楽サロン 12カ所 延参加者 約2,500人)</p> <p>【交流の場】 「生き生き音楽交流会」地域で音楽介護予防活動を行っている団体の交流会 (参加団体16団体 参加者180人・スタッフ20人)</p>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤ハーモニカを導入したことにより、地域の音楽を通じた介護予防活動が広がった。 ・地域支援を行うサポーターを養成したことで、住民主体の活動が充実してきている。 ・地域活動を行っている介護予防サポーターの質の向上をめざし、フォローアップ研修を強化した。 ・古賀独自の教材を、指導者の介護予防サポーターが中心となり作製することで、地域の自主活動がやりやすくなった。 ・地域の活動が活性化すると、地域支援を行う人材不足が課題となってくる。人材育成が最も大切であり、その教材が必要となる。 		

平成29年度文化芸術事業報告書(視聴覚資料利用促進事業)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	市民・図書館利用者に対して、図書館が所蔵している視聴覚資料の上映を行うことで、作品を楽しく鑑賞してもらったり映画の楽しみを知ってもらう。		
日時	名画会:第2土曜日 子ども映画会:第2日曜日	会場	リーパスプラザこが歴史資料館 中会議室 他
来場者		参加者	名画会:313人・子ども映画会:172人
担当課	文化課	担当係	図書館係
内容	<p>図書館が所蔵している視聴覚資料(上映許諾権付)を「名画会」「子ども映画会」として上映する。上映にあたっては、参加者のニーズと上映権の許諾を考慮して作品や文化的価値がある作品、評価が定まった作品を選ぶ。</p> <p>【名画会】 第2土曜日 14時～開催 各月1回 年間12回</p> <p>【子ども映画会】 第2日曜日 14時～開催 各月1回 年間12回</p>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・名画会については、介護支援課の外出促進事業に参加したことにより、それをきっかけとして参加者数が増加し、リピーターになってくれる人がいた。 ・子ども映画会については、上映した作品に関連した図書資料の貸出が増加し、貸出促進が図られた。 ・子ども映画会の参加者数が減少している。事業のアピールや作品選択について、また開催時期や回数についても検討の必要がある。 		

平成29年度文化芸術事業報告書(地域文庫・読書ボランティア支援事業)			
計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	地域文庫や読書ボランティア団体に対して、図書館資料の団体貸出やスキルアップの為の研修等を実施し、地域での読書活動の活性化を促す。		
日時	会場	各文庫や各読書ボランティアの活動場所	
来場者	参加者		
担当課	文化課	担当係	図書館係
内容	<p>【地域文庫への配本】 市内の公民館や集会所や児童館にある6つの地域文庫へ図書館資料を年3回、300冊まで(児童書200冊・一般書100冊)を限度とした配本を実施。</p> <p>【文庫連絡会】 年3回、情報交換や交流を実施(1回は、おはなし会スペシャル)</p> <p>【読書ボランティア講座】 「絵本の力」を届けようと題し、2回シリーズの講座を実施。 講師に「子どもの本の専門店エルマー」の前園 敦子さんを迎えた。 参加者は延べ39人。</p> <p>【読書ボランティア交流会】 小グループでの情報交換等を実施。</p> <p>【読書ボランティア団体への支援】 地域ボランティア活動支援のための助成事業等の案内や各地域での研修会や講演会等の情報提供を行った。</p>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域文庫へ図書館資料を団体貸出することにより、文庫の自主的な活動を促し、図書館を利用することが難しい利用者への読書活動を市内各地域へ広げることができた。(貸出冊数は2,119冊) ・読書ボランティア交流会を実施することで、各ボランティア同士の交流ができ、以後の活動に繋がった。 		

平成29年度文化芸術事業報告書(視覚障害者読書支援事業)			
計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	市内視覚障害者に対して、朗読ボランティアが録音した資料を活用し、読書の楽しみや情報の提供などを実施する。		
日時	不定期	会場	図書館
来場者		参加者	6件
担当課	文化課	担当係	図書館係
内容	・朗読ボランティアが録音したテープや図書館の資料(カセットブック録音図書)を無償郵送システムを使って視覚障害者へ提供する。		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・6件の依頼を受け視覚障害者の方へ配送を行った。 ・活用件数が徐々に減少しており、広報や周知を行う必要があると思われる。 ・マルチメディアDAISYの活用推進及び周知が必要である。 <p>(マルチメディアDAISYは、現在広く流通している音声DAISYのさらに進んだもので、音声とその部分のテキストや画像等がシンクロナイズ(同期)して出力され、パソコンで利用できる。視覚障害者・肢体障害者・聴覚障害者・学習障害者・寝たきりの人等様々な人が利用できるアクセシブルなデジタル図書)</p>		

平成29年度文化芸術事業報告書(青少年活動支援事業(コスモックスまつり))

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	青少年の居場所として音楽スタジオやダンススタジオを備えている千鳥児童センターで、その利用者が自発的にイベントを企画、実施することにより、日頃の練習の成果の発表及び交流の場とする。		
日時	10月29日 日曜日 13時から16時	会場	千鳥児童センター(COSMOX) 古賀市千鳥3丁目3-7
来場者	千鳥児童センター利用者 利用者OB、保護者等	参加者	44名(バンド:10組 ダンス:2組) 53名(見学者)
担当課	青少年育成課	担当係	千鳥児童センター
内容	センターを利用する高校生が中心になり、企画・立案から当日実施までの一連の流れを行う。		
成果・課題	<p>○バンド演奏、ダンスの披露、参加者を巻き込んだクイズ大会などを行い、センターを利用する小・中学生、OBといった、世代間の交流が図ることができた。</p> <p>○企画～運営まで、イベントのすべての工程を行うことで「企画力」「調整力」「協調性」などの個々の能力開発に期待がもてる。</p> <p>●施設の利用について、一部の参加者はマナーに対し欠如している。マナー向上への働きかけが、必要。</p>		

平成29年度文化芸術事業報告書(乳幼児親子相談事業)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	同年齢の子どもを持つ親同士の交流や情報交換などをして、子育てに関する不安や悩みを軽減する。		
日時	<p>●月1回(7ヶ月っこ広場、1歳誕生広場) 10:00～10:30(骨密度測定) 10:30～12:00 ※月1回(1歳誕生広場) 10:00～(受付) 10:30～12:00</p> <p>●年6回(2歳元気っこ広場) 10:00～12:00</p>	会場	サンコスモ古賀 すこやかホール
来場者		参加者	乳幼児数:394人
担当課	子育て支援課	担当係	家庭支援係
内容	<p>・わらべうた、手あそび、読み聞かせ等の親子遊び</p> <p>・月齢に応じた生活リズム習得の啓発、身体測定、親同士の交流</p> <p>・誕生カード作り、誕生会(1歳誕生広場)</p>		
成果・課題	<p>・4カ月児健診、10カ月児健診の合間に事業を開催することで、健康診査前に相談しやすい体制となっている。</p> <p>・同じ月齢の子どもを持つ保護者が参加されることで、親同士で情報交換ができ、友達づくりのきっかけとなっている。</p> <p>・市の様々な相談窓口を紹介できるとともに、年齢に応じた事業の紹介をしており、適切な支援につなげている。</p>		

平成29年度文化芸術事業報告書(乳幼児絵本との出会い促進事業)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期 — ざわめきづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児と保護者が絵本を介して向かい合い、「あたたかくて楽しいことばのひと時」を持てるよう支援する。 ・子育て中の親子の居場所や子育てに関する相談・情報提供を行い、育児不安や子育て負担の軽減を図る。 ・基本的生活習慣の習得。 		
日時	月1回 10:15受付 10:30～11:30	会場	サンコスモ古賀 すこやかホール
来場者		参加者	乳幼児数:270人
担当課	子育て支援課	担当係	家庭支援係
内容	<p>4か月児とその保護者を対象に次の内容を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わらべうた、ふれあいあそび ・絵本の読み聞かせ ・ブックスタートの趣旨、配布物の説明 ・図書館からの説明(図書カード・ねえよんで他) ・基本的生活習慣の習得に関する啓発 ・子どもとメディアとの関係について(グループワーク) ・絵本の引換 ・育児相談 		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて絵本と出会う方もいることから、読み聞かせの楽しさや絵本選びについて伝えている。 ・つどいの広場「でんでんむし」や、他の子育て支援施設の紹介をすることで、利用の促進を図り、保護者同士がつながりあえるきっかけづくりになっている。 ・職員にとっては、乳児家庭全戸訪問等で出会った児との再会の場となっており、保護者からの育児相談を受けることで、当該家庭の現況確認ができています。 ・事業に参加できない家庭には、絵本を持って訪問をする等、支援のきっかけにもなっている。 ・ブックスタート事業を通じて、赤ちゃんの成長には、心と身体の両方の発達が必要であることを考えてもらうきっかけになった。 		

平成29年度文化芸術事業報告書(乳幼児親子居場所提供事業)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の親子が気軽に利用し、交流を通じて情報交換や仲間づくりの場を提供する。 ・育児相談等を実施し育児負担の軽減や支援機能の充実を図り子育て支援を行う。 		
日時	月曜日～金曜日 9:00～16:00	会場	サンコスモ古賀内 つどいの広場「でんでんむし」
来場者		参加者	乳幼児数:7, 246人
担当課	子育て支援課	担当係	家庭支援係
内容	<p>0歳～就学前までの子育て中の親子を対象に、下記のとおり実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親同士の交流の場の提供 ・子育て支援情報として、でんでんむしだより、遊びの紹介、地域の子育て支援事業等を提供 ・夏休み等長期休暇中に主に3歳以上児を対象に遊びの場を提供(わんぱくタイム) 		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフのかかわりによって、親同士の交流を促進するとともに、適切な情報を提供することができた。 ・月齢児に応じた遊びのスペースを設けることで、子どもが主体的に遊べるように工夫した。 ・係内(全戸訪問事業、発達ルーム事業、家庭児童相談)の連携をはじめ、予防健診課等との連携も深まり、気になる親子の見守りが充実した。 ・市民ニーズに即した「わんぱくタイム」は、利用者が増え喜ばれた。 		

平成29年度文化芸術事業報告書(地域介護予防推進事業)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	高齢者の健康づくり・生きがいづくりなど活動を地域で推進するために、その役割を担うサポーターを育成し、住民主体による地域介護予防活動の活性化を図る。		
日時	各地域において実施	会場	各行政区公民館 等
来場者		参加者	約15, 000人
担当課	介護支援課	担当係	介護予防係
内容	<p>【運動関係介護予防活動】(ニギニギ体操・家トレ・ボールゲーム・ストレッチ体操等) 介護予防運動サポーター養成講座・介護予防運動サポーター連絡会・地域介護予防運動活動・ボールピック・運動やってみ隊活動支援。</p> <p>【音楽関係介護予防活動】(音楽レクリエーション・鍵盤ハーモニカ等) 介護予防音楽サポーター養成講座・介護予防音楽フォローアップ研修・地域介護予防音楽活動・音の輪会活動支援。</p> <p>【出前講座】 古賀市出前講座・ゆい出前講座</p>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・域活動サポートセンターを拠点に人材育成を行い、地域公民館において住民主体の介護予防活動が活性化している。 ・地域介護予防を行う地域と行わない地域との格差が出てきており、地域のニーズを把握し、立ち上げ支援を行っていく必要がある。 		

平成29年度文化芸術事業報告書(ねんりんスポーツ・文化祭)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	・福岡県在住の高齢者の文化・スポーツの活性化を図る		
日時	各事業	会場	各会場
来場者		参加者	延参加者数944人
担当課	介護支援課	担当係	介護予防係
内容	県と連携しながら、ゲートボール、グランドゴルフ等のスポーツ競技や囲碁、将棋、美術展等の文化イベントへの参加を促し、表彰を行う。 ねんりんピックの情報をシニアクラブや各関係団体に周知を行った。		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の優れた能力を生かした、ねんりんピック活動は、国・県が行っている事業である。市町村が行うのは、啓発と関連事務である。古賀市で行う事業と違って、企画等に係ることはない。 ・成果としては、賞状や記念品等が県より支給されることにより、各参加団体の費用の軽減と、事業の盛り上がりがある。 ・毎年の課題としては、なかなか参加団体の年間行事日程が決まらず、申請がぎりぎりとなり、5月初旬の行事は、対応できない。 		

平成29年度文化芸術事業報告書(介護・生きがい活動支援センター(ゆい)管理運営事業)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	介護予防及び生活支援に資する事業を地域において実施し、もって高齢者等の健康の増進及び社会参画の促進を図る。		
日時	地域活動の拠点として 月曜日～金曜日開館(祝日閉館)	会場	地域活動サポートセンター
来場者		参加者	利用者数3,024人
担当課	介護支援課	担当係	介護予防係
内容	<p>平成28年度より、「ゆい」の事業を地域介護予防・日常生活支援の推進拠点として再整備を行う。活動の場を行政区の公民館や集会所等とし、地域活動を支援する介護予防サポーターの育成を行い、地域活動の活性化を行う。</p> <p>【地域介護予防活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防サポーター事業(運動・音楽・その他) <p>【ゆいサポプログラムによる人材育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食づくり ・パソコン教室 ・歴史講話 ・筆ペンで遊び ・抒情歌 ・パステルアート ・太極拳&気功 ・季節の絵手紙 ・木目込みアート ・畑づくり ・手芸&ビーズ ・男の料理教室 ・世代間交流 ・ハーモニカ ・鍵盤ハーモニカ 		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・古賀市は介護保険事業において、28年度に、介護予防・日常生活支援総合事業を導入し、身近な公民館や集会所等を利用し、高齢者が生きがいや健康づくりを行う市民活動の拠点として、地域活動サポートセンターゆいの活動を強化している。 成果としては、介護予防サポーターの活動が出前講座など通して活性化し、市民力で地域活度が広がってきた。 課題としては、介護予防サポーターと地域を、いかにマッチングしていくかが重要となり、スタッフのコーディネート力が問われていく。 		

平成29年度文化芸術事業報告書(高齢者生きがいづくり支援センター(えんがわくらぶ)運営事業)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	・高齢者の生きがいづくり、介護予防、レクリエーション及び世代間交流並びに地域支援の向上に資する市民活動を支援を行い、介護予防の推進を図る。		
日時	開催日:(不規則)	会場	高齢者生きがいづくり支援センター(えんがわ)
来場者		参加者	706人
担当課	介護支援課	担当係	介護予防係
内容	<p>【えんがわくらぶ】 活動状況:年間58回 延参加者数:446人 活動内容:平成28年度より、高齢者の生きがい活動を行う自主団体となる。活動は、東小学校の児童との年間を通した、交流活動と趣味活動や健康講座などを開催。介護予防の鍵盤ハーモニカの活動を月1回行っている。</p> <p>【カチカチ会】 活動状況:定例会月2回(年間29日) 延参加者数:約190人 活動内容:古賀市の民話を掘り起こしを行い、大型紙芝居を作成。子どもから大人まで、様々な方に語り継いでいる。 平成29年度 上演回数 27回 動員数 838人</p> <p>【ぐりとぐらの会】 活動状況:平成29年度度7回 延参加者数(約70人) 活動内容:古賀東小学校において、絵本の読み聞かせを行うボランティアを行っている。</p>		
	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・旧用務員宿舎なので、学校敷地内にあり、東小学校の生徒との交流が自然とうまれている。 ・東小学校の生徒と、一人暮らしの高齢者宅に花を贈る取り組みを行い、喜ばれている。 ・カチカチ会は紙芝居づくりをえんがわで行い、古賀市内各地域で講演活動を行っている。 ・H29年度より、読み聞かせボランティア「ぐりとぐらの会」の活動が始まる。 ・えんがわでの活動がない日があるので、児童との交流に適切な高齢者団体に、学校と連携し声かけを行っていきたい。 	

平成29年度文化芸術事業報告書(介護予防・生きがいづくり支援(しゃんしゃん)事業)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	65歳以上の高齢者に対し、生きがい活動としての各種サービスを提供することにより、社会的孤立感の解消、自立生活の助長及び要介護状態への進行を予防する。		
日時	火曜日～土曜日(10時～15時)	会場	社会福祉センター 千鳥苑 しゃんしゃん
来場者		参加者	65歳以上の高齢者 2,920人
担当課	介護支援課	担当係	介護予防係
内容	<p>【主な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら日常生活を意識した運動。 ・生活に密着した内容の講座開催。 ・食べることを楽しみに、栄養のバランスが取れた食づくり。 ・昔好きだったこと、チャレンジしたいこと等、個性を大事にした趣味活動。 <p>【活動内容例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事 ・手芸活動&芸術活動 ・園芸活動 ・世代間交流 ・各健康教室(口腔衛生・認知症予防・食事に関する教室等) ・体操に関する教室(体操レクリエーション・いきいき体操・ヨガ等) 		
	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度より、古賀市では介護予防・日常生活支援総合事業を開始し、それに伴い、平成29年は3名の、要支援者を受け入れ、活動支援を行った。 ・しゃんしゃんで行う様々な活動を通し、高齢者が生きがいを持ち楽しく取り組むことにより、心身を健康に保ち、介護予防が図れた。 ・参加者が増えてきたが、部屋が狭く活動が制限されることがあったが、29年度末に改修を行い、安全に活動が行えるようになった。 	

平成29年度文化芸術事業報告書(介護予防支援センター(りん)管理運営事業)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — 人にやさしいまちづくり — 行政がおこす — 長期		
目的	高齢者に対し、生きがい活動等の介護予防支援事業を実施し、高齢者等の健康の保持増進及び向上を図る。		
日時	月・木・金曜日 10時～15時 火・水曜日不定期	会場	ふれあいセンターりん
来場者		参加者	65歳以上の高齢者 延 4046 人
担当課	介護支援課	担当係	介護予防係
内容	<p>「ふれあいセンターりん」では古賀市にお住いの、概ね60歳以上の方を中心に、ものづくりや生きがいづくり、仲間づくりを行っている。</p> <p>【生きがい活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木工(毎週木曜日) ・革細工(毎週月曜日・金曜日) ・紙バンド教室(月1回) ・ウクレレ教室(月2回) ・折り紙教室(月1回) ・布草履づくり(月2回) ・コーラス(月1回) ・絵画(月1回) ・押し花(月1回) ・ヨガ ・太極拳 ・その他(次世代交流活動) ・フラダンス 		
成果・課題	<p>・ふれあいセンターりんでは、香椎イオンにおいて、参加者が作成した木工・革細工・手芸品等を定期的に販売している。「りん」ブランドとして販売し、好評で定着してきた。</p> <p>・ウクレレ、コーラスなど、発表の場もあり、平成30年7月に、りんコンサートを開催予定。</p> <p>・参加者の固定化があり、新規の会員を増やすために体験会を28年度より強化したが、なかなか継続利用に結びつかない。</p> <p>・ふれあいセンターりんは、利用者の地域活動への参画にも期待を持っており、介護予防サポーターの推進を行っていききたい。</p>		

平成29年度文化芸術事業報告書(外出促進事業)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — ざわめきづくり — 行政がおこす — 短期		
目的	高齢者の外出を促すことで、誘い出しのきっかけづくり、地域参加のきっかけや、地域とのつながりづくりを行い、社会参加の推進、引きこもりと孤立化を防ぎ、介護予防を推進する。		
日時	各活動にて実施	会場	各活動にて実施
来場者		参加者	延イベント参加者 約17,522人
担当課	介護支援課	担当係	介護予防係
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・古賀市のイベントや地域活動を掲載した「お出かけハンドブック」を作成。(平成29年度 配布冊数 約5000冊) ・ハンドブックに掲載されたイベントに参加した人に、シールを配布。(年間延シール配布数 17,522枚) ・5枚集めて、抽選に応募する。(応募枚数 1725枚) ・健康グッズや古賀市の商品が当たる。(当選者 154人) ・年間45イベントに参加した人(抽選券を9枚応募した人)を、お出かけ大賞として表彰(お出かけ大賞 29人) 		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・古賀市で行われている様々な文化活動や地域活動がハンドブックに掲載されることで、見える化が図られ、啓発効果が高まった。また、抽選を行うことで、参加意欲が高まっている。 ・抽選商品を古賀市の特産にすることで、古賀市の産業の啓発にもつながっている。 ・外出促進事業に参加した高齢者が、支援者として生きがいの場が見つかる高齢者も出てきた。 ・この取り組みが、高齢者限定であるため、より広げていくためには、観光や商工が取り組み、年齢枠を外すことも視野に入れていくと市の活性化につながると思う。 		

平成29年度文化芸術事業報告書(レッツトライ!プロジェクト)

計画の位置づけ	古賀市の新しい魅力を興す — ざわめきづくり — 行政がおこす — 短期 環境づくり — — 行政がおこす — 長期		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・文化振興を担う人材の支援として、既存の団体の活性化と新しい団体の創生を支援する。 ・商業観光振興等の他ジャンルを文化芸術の力で支援し、盛り上げる。 		
日時		会場	
来場者		参加者	
担当課	文化課	担当係	文化振興係
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・【講座】開催日:11月29日(水) 会場:リーパスプラザこが交流館101号室 参加者数:16人 ・レッツトライ!プロジェクト受講生の自主企画につなげるべく、講師に小山 留美香氏を招いて、古賀市の郷土料理「さらさら」の調理を行った。 ・前年度までの講座を生かして、参加者が自主活動を開始。支援を行う。 ・5年間の活動の総括として報告書を作成した。 		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・3月の菜の花まつりにおいてレッツトライ!プロジェクト受講生により「さらさら」の販売を行い、今後の活動資金を確保した。これまでに学んだことを生かし、自ら企画し、事業運営ができるようになった。 ・平成25年度から平成29年度までの間、文化振興を担う人材を育成するため、自主活動を行ううえでの知識を積む講座の実施等の支援を行ってきた。今後も受講生の自主活動にあたって、企画実現のための支援を行う。 		

平成29年度文化芸術事業報告書(文化芸術振興計画管理)

計画の位置づけ	環境づくり — 行政がおこす — 長期		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術振興計画を様々な機会に啓発を行い、文化芸術に関する意識啓発を行う。 ・古賀市文化芸術振興条例に基づき、文化芸術審議会を設置し、古賀市文化芸術振興計画の進捗管理を行い、古賀市の文化芸術振興を図る。 		
日時	下記のとおり	会場	下記のとおり
来場者		参加者	
担当課	文化課	担当係	文化振興係
内容	開催日	会議名	協議事項
	5月23日(火)	第1回古賀市文化芸術審議会	平成29年度文化芸術関連事業年間カレンダーについて
	8月29日(火)	第2回古賀市文化芸術審議会	平成28年度文化芸術関連事業報告書について 歴史資料館要覧について
	10月18日(水)	第3回古賀市文化芸術審議会	平成30年度文化芸術関連事業計画(案)について
	12月27日(水)	第4回古賀市文化芸術審議会	古賀市文化芸術振興計画の見直し・評価について
	2月19日(月)	第4回古賀市文化芸術審議会	古賀市文化芸術振興計画の見直しについて
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度に古賀市文化芸術振興計画の見直しに向けた準備として様々な意見をいただいた。 ・古賀市の文化事業について客観的な視点での意見をいただいた。 		

平成29年度文化芸術事業報告書(公募型補助金:絵画で古賀市を元気にするプロジェクト事業)

計画の位置づけ	環境づくり 古賀市の個性を起こす — 今ある宝を再認識する — 行政がおこす — 短期 環境づくり — 団体がおこす — 団体がおこす		
目的	・古賀市在住の児童の絵画表現活動の奨励支援を、市民参加で推進するとともに、本事業を通して学校、児童家庭、地域住民間の交流の促進、絆の強化を図り、共働の明るい「元気なまちづくり」に貢献する。		
日時	展示:10月13日(金)~10月15日(日) 表彰式:10月14日(土)	会場	展示:市内各所 他 表彰式:リーパスプラザこが中央公民館大ホール
来場者	下記参照	参加者	下記参照
担当課	文化課	担当係	文化振興係 (主催:アートフレンズ25)
内容	<p>【概要】市内全小学校に協力を得て、児童の夏休みの作品の募集を行い、入賞者は表彰し、外部協力団体や協賛の企業先に展示する。作品応募総数は762点。うち入選100点、うちMOA美術館古賀市児童作品展大賞1点。</p> <p>【メイン展示】10月13日(金)~10月15日(日)イオンモール福津イオンホール 来場者 746人</p> <p>【表彰式】10月14日(土) リーパスプラザこが中央公民館 大ホール 参加者:350人</p> <p>【サブ展示】入場者数:600~1,000人</p> <p>会場:古賀駅美術館・千鳥苑・びはらホームこすもすギャラリー・リーパスプラザこが交流館ギャラリーかがやき・古賀市役所・舞の里内科・焼肉マイスターかなちゃん・愛和病院・ぽこあぽこ・粕屋農協小野支所・こがファミリー内科</p> <p>ボランティア:42名 協賛企業:58社 個人協賛:28人 後援:6ヶ所</p>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の絵画表現力の支援となり、同時に自己肯定感を高めることができた。 ・出展した児童、児童の家族及び近隣住民からの喜びの声が多数あった。 ・企業、団体、市民と共働で事業を実施することが出来た。 ・当作品展の大賞作品が全国展でMOA美術館奨励賞を受賞した。 ・趣旨に賛同する一般市民、企業、団体が増え、協賛金や展示会場が増加した。 		

平成29年度文化芸術事業報告書(文化芸術事業補助金)

計画の位置づけ	誇りをおこす — 行政がおこす — 団体がおこす		
目的	・古賀市の文化芸術振興に寄与し、クオリティ・公益性の高い企画・運営を行う団体を支援する。 ・市民とプロが交流する機会を設け、文化芸術活動の活性化を図る。		
日時	10月29日(日)	会場	リーパスプラザこが中央公民館 大ホール
来場者	586人	参加者	
担当課	文化課	担当係	文化振興係(主催:NPO法人古賀市文化協会)
内容	<p>【市民音楽祭】</p> <p>内容:市民が一流の音楽にふれる機会を増やすことを目的とし、安価でプロの演奏を鑑賞できるコンサートとなっている。さらに、古賀市民には割引制度を設けている。</p> <p>また第2部では古賀市民の団体「津軽三味線"絃楽"」との共演の場を設けた。</p> <p>出演者:第1部:アコースティックバンド ミサンガ・第2部:浅野 祥</p> <p>【チケット料金】前売券:古賀市民 2,500円・市外在住者 3,500円 当日券:古賀市民 3,000円・市外在住者 4,000円 ※身障者・高校生以下500円引</p>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果では、9.9割が「よかった」との評価をしており、満足度の高さが伺える。 ・27年度は、60歳以上の来場者の割合が90%以上であったが、28年度は85%、29年度は83%と若い世代が増えている。広い世代に好まれる演目に移行したことが良かったと考える。 ・女性来場者の割合が、27年度が77%、28年度が82%、29年度が81%と圧倒的に高く、男性へのアプローチが必要。 		

C

C